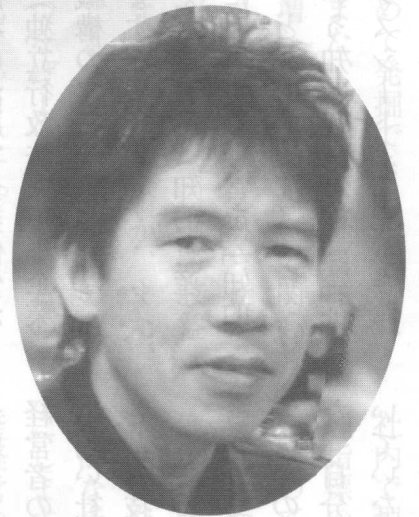


「永らくしてない事と 続いている事」

吉備建築設計室
設計専攻建築士『戸建住宅』

吉備 考司



住 所：加古川市加古川町本町21-17
T E L：079-423-6350
営業内容：建築設計監理
H P：http://k-dango.com/

加古川町本町に事務所を開いて4年目となりました。皆様に信頼していただけるにはなかなか至りませんが、上げた看板を少しでも長く掲げたいと微力を注いでいます。(肩書きにある専攻建築士とは、ペーパードライバー的であったり悪質な建築士が存する中、それらと区別化すべく(社)日本建築士会連合会に登録認定されたものです。)

さて、私の住まいは生まれてこの方ずっと姫路市ですが、加古川西高へ入学してからは、こちらの方での付き合いが多く、大学卒業後に建築業界へ入ってからも加古川市が拠点となっています。今年50歳となりまうので、かれこれ35年目の付き合いとなりまう。ですから、加古川人の心が自然と身に付いているはずだと思っけています。と言いながら、この画一的な日本社会では、どの地域も似たり寄ったりかとも感じる今日この頃で、自分は個性的でありたいと、きつと加古川的な思想(のはず!?)に取り憑かれています。

個人事業主である事も理由かと思ひますが、私は健康診断を何年も受けていません。自分が病気がどうかは、自分で分かると思ひています。おそらく皆さんも同じで、健康診断の結果は、ほぼご自分の予想通りではないかと思ひます。つまり、不健康な生活を続ければ結果として病気となるし、診断結果を見るまでもなく生活を改めようと思ひうもの思ひです。

今、自分の生活が健全であると断言までは無理ですが、結婚し子供を持つてからは飛躍的に改善したと思ひます。きつと自分の役目を果たす為に必要なったのだと思ひます。下の子供も中学生に上がり、近頃は「自分がいなくても、どないなとなるなあ」と薄々感じていますので、死ぬならポッキリを希望しています。となると、一層健康診断からは離れます。

続きまして、永らくしてない事にテレビがあります。ニュース番組のハシゴというのは、おっさん達の日課みたいなもの思ひますが、久米さんが辞められてからこの方、まったく言っけていほどやっけていません。わが家の嫁さんの方針で、食事の中のテレビは認められていなかつたのですが、この静けさが意外と快適に感じ、引き続きテレビをつけなない事がなんとも心地よい生活なんです。

では、何をしてくるのかって事になるのですが、恥ずかしながら、音楽に対する探求です。学生時代に取り憑かれて今も続いています。実力の程は伸びませんが、自分の為でもあり、いつかは人の為でもあれと願ひ続いています。そして、今さらに気が付いている事が、気持ちが当時のままだという事です。おそらく世のお年寄りがそうであるように、自分も変わらな若いと思っけている。というより、年を取っけている事に気が付いていないのですね。

いつの日か玉手箱を空けてやめる時が来るのだらうけど、その日まで引き続き若いままであると思ひます。そして、同じ様に竜宮城に入り込んでしまったお年寄り(おそらく全ての人)を大切にしたい、と近頃よく感じます。人生100歳としてあと半分も若き日が残っけています。皆さん、これからもよろしく願ひします。